



最高を超える山田錦プロジェクト2024

瀬祭グランプリ 最終選考に参加しての感想



生産者通信

(有)エコ・ライス新編 定価 100円(送料込)

阿賀野市 丸山 拓也



この度「最高を超える山田錦プロジェクト」に参加させてもらい、誠にありがとうございます。私は、山田錦を栽培して3年目になりまして、令和6年産に関しては、初めて新潟県予選を突破して、もしかしたらなど思っておりました。結果は機械判定で落選しました。栽培に関しては収量を上げること、心白を小さくすることは、とても難しいものだと改めて実感しています。どんな思いで皆様が栽培しているのか、また日頃からどんな思いで取り組んでいるのか、できれば生の声を聞きたいと思

いました。豊永社長から電話が入り「丸山さん表彰式参加しませんか。」と言われ、最初はビックリしました。新潟予選通過したものの、本選の機械判定ですでに落選しているのに誘っていただけるなんて、本当に光栄に思いました。会場ですんだことですが、皆様が当たり前だと思える点も多くあるのですが、桜井会長、桜井社長、その他の方々のお話やデイスカッションした内容をメモしたのでお伝えしたいと思います。

- ①山田錦とは
 - ・もつとも酒作りに適した米。
 - ・大正時代の米。
 - ・兵庫から全国に。
 - ・温暖化が進んでいるため米も北上している。
- ②日本酒の無形文化遺産について
 - ・文化遺産ではなく文化資産にする。
 - ・伝承していくことが重要。
 - ・瀬祭は味わいを追っかけているから、低
- ③瀬祭が求めている山田錦
 - ・小さな心白にするこ
 - ・とが1番。
 - ・心白が大きいと崩れてしまう。
 - ・純米の場合はこちらだ。
 - ・線状心白は気温に左右される。高温が続いていると出やすい。
- ④人生観について
 - ・失敗を乗り越えていくからこそプロ。
 - ・成長する人はこれをする。
- ⑤アメリカ(アーカンソン州)の米について
 - ・アメリカは3年に1回しか米を作付けしない。(連作しない)



- ・アメリカの米の質はそこそこ良い。(大規模でも良い品質の米が取れる)
- ⑥今後の農業について
 - ・国営化するのも一つの手段。
 - ・法律は社会情勢にあっている。
 - ・農協は自分たちに主導権を統制したいと思っている。JAは変わらないし変わらない。
 - ・崇高なかつこい農業にならないといけない。
 - ・理系と文系農家が出てさまざまな方向からアプローチをする。
 - ・「仕事辞めて農家になろうかな」とかそういう安い考えの農業は衰退の一つ。
 - ・単純作業はAIでやり、難しいのは人間やる。



私の感想です。今回、桜井会長、桜井社長、精米責任者榎本様、グランプリを取られた早乙女農場の早乙女様のお話を聞き、一番重要なのは「数値やデータ」だと感じました。作る工程は人それぞれ違います。自分のやり方が合っているのか、合っていないのか、データがなければ、自分がどの方向に向かっているのかわかりません。皆様は当たり前前やっている事かもしれませんが、私も、とても大切なことをしていない、出来ていないと実感しました。早乙女様は検査員とのことで、製品を調べ、1回目では3等に近く、それを再度調整し、紙袋で出荷したとのこと。一度で結果を出さず、再度チェックし検査員の目やデータがあったからこそグランプリなれたのだと感じました。《裏面に続く》



全国158件のエントリーの中から予選を勝ち抜いた7つの米が並ぶ

《表面からの続き》
 また、瀬祭の方々も安定した最高の日本酒を作るため数値を把握しデータで管理するお話をしました。おそらく瀬祭は、そこを指しているのではないかと感じました。それは、根拠があるからこそ成長でき、次のステップに行けると桜井会長、社長の思いが私なりに強く感じられた表彰式でした。私はこのデータや数値についてどのように栽培し出荷調整したら良いのか、良い答えは出ていませんが自分でできる生育調査を必ず行い、少しでもグランプリに近づけるよう努力していきます。

山田錦協議会が一致団結し情報共有をすることが、成長することの一つだと思えますので、グランプリ取れるようみんなで頑張りましょう。

三条市
山崎 哲志



今回の表彰式に参加し、多くの農家の中から選ばれた山田錦を拝見させていだき、改めて新潟県山田錦協議会の私たちでも超えることが出来るのではないかと感じました。

令和7年の栽培として、リゾケアでの直播や肥料管理、栽培期間の変更などを行うということを進めて行きたいと思えます。

やはり受賞者の皆さんからお話を伺って思う所や共に通して感じたことは、早く刈り取りを行い調整に時間をかけていられることです。

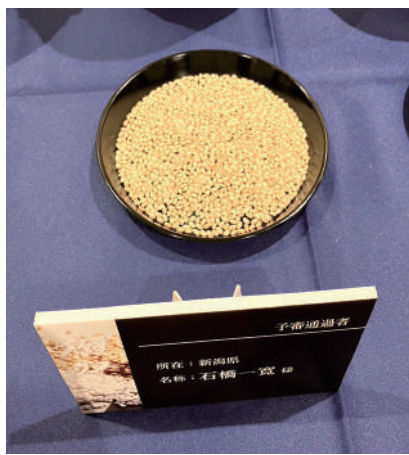
10月上旬には刈り取り完了し、その後はサタケのサクセスでの色彩選別作業を行う。6年産は整粒の具合から色彩選別機の2回通しを行われないかと考えられていた。さらに7年産はうるち米の価格上昇などから山田錦の生産者の増減もあり、我々新潟の生産者にも多くいチャンスがあるのではな来年はさらに高みを目指して頑張りたいと思えます。

長岡市
石橋 一寛



授賞式会場入口に最終選考者7名の米が並んでおり、そこに自分の名前を見つけた時、初めてここまで勝ち残ったのだなと自覚できました。と、同時に「アレが獲れる！」という気持ちも湧いてきたのですが、とりわけ栃木の米3品は群を抜いており、予想通り栃木の独占で結果が出ました。3位以下は順位も名前も好評されません。ただステージを羨ましく眺めるばかりです。

授賞者の方にもたつてもいられず、受賞者があつたのか尋ねました。受賞者2名は那須の栽培者で、やはり新潟とは異なる環境条件・栽培意識のよう感じました。機会があれば詳細をお伝えたいです。



ご注意ください!!

穀粒判別器で胴割3%以上は規格外扱いになり **価格が下がります!**



胴割にはくれぐれもお気を付けください。
肥料不足、刈り取り遅れ、急速な乾燥は避けてください。

山田錦

網目

2.05mm以上
規格外:1.9mm以上

